

### 議題 3 路線要望地区の現況調査について

今回の川越シャトルの見直しにおける検討課題として、『市民や利用者に親しまれる川越シャトル』とのテーマを設定しました。

平成25年10月に路線の見直しを実施したところですが、現在も市民等から川越シャトルに関する意見や要望を数多くいただいております。

そのうち、自治会等から陳情・要望として書面で市に提出されました3つの地区につきましては、検討委員会に諮り審議する必要があると考えられますので、現地調査を実施いたしました。

結果につきましては、以下のとおりです。

## 1. 下広谷北地区（名細地区）

	世帯数	鉄 道 最寄駅	路線バス 最寄バス停	川越シャトル 最寄バス停	要望者
下広谷 北地区	536	東武東上線 若葉駅 2.8 km	東武バス 下広谷バス停 0.7 km	広谷新町自 治会館前バ ス停(10系 統) 0.4 km	下広谷北 自治会長

※距離の計算は、自治会区域の概ね中心と思われる場所から算出。

※路線バスは、若葉駅発川越駅行のバスが1時間に1～2本程度運行しています。

※川越シャトルは、鶴ヶ島駅西口発霞ヶ関駅北口行（10系統）のバスが平日で11便運行しています。

### 【現地調査の結果】

#### ① 道路の状況

圏央道の整備に伴い、周辺道路が整備され、川越シャトルの車両が運行できる市道が多く存在する状況です。

ただし、要望地区内には小学校があり、スクールゾーンが設定されているため、運行時間やルートには十分注意が必要と思われます。

#### ② 公共施設の有無

下広谷北自治会館

#### ③ 地区の状況

既存住宅のほかに、新興の住宅地や宅地造成を行っている場所が多く見られます。

#### ④ バス停の候補地

下広谷北自治会館周辺

#### ⑤ この地区を経由する路線変更は可能か

幅員が狭い市道を避ければ、10系統のルートを延伸することは可能と思われます。また、延伸した場合においても、路線見直しの基準（10km・30分・道路幅員6m）をほぼ満たしております。

ただし、運行時間が長くなることにより、現在の路線利用者に影響を及ぼす可能性が考えられるため、すぐに路線変更を行うのではなく、期間を設けて実証実験を行い、路線を延伸するかどうか決定することが考えられます。

⑥ 参考

	路線距離	運行時間	備考
10 系統（現在）	6.3 km	18 分	
要望地区まで延伸した場合	+1.0 km (延伸 1.3km－ 廃止 0.3km)	+3 分	乗降時間 40 秒で計算

※運行時間は諸条件により変わるため、概ねの目安です。

## 2. 笠幡台・大笠地区（霞ヶ関地区）

	世帯数	鉄 道 最寄駅	路線バス 最寄バス停	川越シャトル 最寄バス停	要望者
笠幡台 ・大笠 地区	277	JR 川越線 武蔵高萩駅 1.8 km	イーグルバス ひだか団地バス停 0.2 km	田中バス停 (12 系統) 1.2 km	住民 78 人

※距離の計算は、地区の概ね中心と思われる場所から算出。

※路線バスは、ひだか団地発高麗川駅行のバスが 1 時間に 1 本程度運行しています。

※川越シャトルは、西後楽会館発霞ヶ関駅北口行（12 系統）のバスが平日で 5 便運行しています。

### 【現地調査の結果】

#### ① 道路の状況

道路台帳では幅員が 5 メートルとなっています。川越シャトルの車両と一般車がすれ違う際には、注意を払う必要があります。

#### ② 公共施設の有無

大笠自治会館

#### ③ 地区の状況

昭和 40 年から 41 年頃にこの団地が開発されたと思われ、高齢化がかなり進行していると思われます。

#### ④ バス停候補地

平成 25 年 9 月まで使用していたバス停（2 箇所）

#### ⑤ この地区を経由する路線は可能か

可能と考えられますが、平成 25 年 10 月の川越シャトルの見直しの際に、利用者が少ないため、この路線の「大笠」及び「日高団地」バス停を経由しないことに決定したばかりの状況です。

なお、延伸した場合においては、路線見直しの基準（10km・30 分・道路幅員 6m）を満たさなくなってしまう、現在のところ大幅な利用者増加を見込むことはできません。

#### ■平成 22 年 6 月 OD 調査の結果

	乗降者数（1 週間）	1 便当たり乗降者数
日高団地バス停	15	0.94
大笠バス停	8	0.50

⑥ 参考

	路線距離	運行時間	備考
12 系統（現在）	7.1 km	24 分	
要望地区まで延伸した場合	+ 3.4 km	+ 11 分	乗降時間 40 秒（バス停 2 箇所）で計算

※運行時間は諸条件により変わるため、概ねの目安です。

### 3. 南大塚6丁目地区（大東地区）

	世帯数	鉄 道 最寄駅	路線バス 最寄バス停	川越シャトル 最寄バス停	要望者
南大塚 6丁目 地区	708	西武新宿線 南大塚駅 1.5 km	西武バス 月山バス停 0.5 km	南大塚駅 北口バス停 (21・22・23系統) 1.6 km	住民 749人

※距離の計算は、地区の概ね中心と思われる場所から算出。

※路線バスは、川越営業所発本川越駅行のバスが1時間1～2本程度運行しています。

※川越シャトルは、南大塚駅北口発川越駅西口行（21系統）のバスが平日で11便運行しています。

#### 【現地調査の結果】

##### ① 道路の状況

この地区の道路の幅員は非常に狭く、一般車のすれ違いが大変困難な状況です。

##### ② 公共施設の有無

大東南公民館（南台3丁目）

##### ③ 地区の状況

昭和45年頃にこの団地が開発されたと思われ、高齢化がかなり進行していると思われま。

##### ④ バス停の候補地

地区の住宅地内は道路幅員が非常に狭いため、選定は不可能

##### ⑤ この地区を経由する路線変更は可能か

現在の車両で、この地区を経由することは不可能と思われまますが、ここからかなり離れた場所にバス停を設置できる可能性は残っていると思われま。ただし、その場合既存ルートを相当延長することとなり、運行時間が長くなることが予想されま。また、西武新宿線の踏切を通過しなければならぬため、ダイヤに影響を及ぼすことが考えられま。

##### ⑥ 参考

前回の検討委員会の提言書に、『川越シャトルのサービスが無い地域については、地域主体の運営による新たな交通サービス等のニーズや可能性を検討すること』とありま。

この地区につきましては、その提言書にあるように、地域主体による取

り組みに基づき、シャトル以外の交通手段を検討することなどが考えられます。